

講演会「男女が輝いて生きるために」

渥美雅子さん

1月28日(木)渥美雅子さん(弁護士 女性と仕事の未来館館長)を講師に迎え、男女共同参画社会づくり特別講演会「男女が輝いて生きるために」が流山市男女共同参画室の主催で行われました。



千葉県女性弁護士第一号で、家族、相続、DV(ドメスティック・バイオレンス)などの問題を得意とする渥美さんは、男女共同参画社会基本法、DV防止法、年金分割等の話題の中にも「大きな優しさで小さなおせっかいをやきましょう!」「三つのY(=役割、友人、余技)を持って豊かな人生をおくりましょう!」との身近な言葉を交えて話されました。

又、講師「渥美右桜左桜(あつみ・うおうさおう)」の顔もお持ちの渥美さんは、得意な演目で聴衆を楽しませ、最後の質疑応答では豊かな経験に裏打ちされた人間味ある回答で聴衆を魅了、男女が輝いて生きるための示唆に富んだ楽しい講演会となりました。

流山市第2次男女共同参画プラン

男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、流山市は平成22年度から平成26年度までの5年間の計画を策定しました。

6つの基本目標を掲げ、力を入れる事業として、少子・高齢化時代を迎え、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進や、子育て支援、育児休業制度、介護休暇制度などの男女共同参画に関する啓発記事を、広報ながれやまやホームページ等に掲載していきます。また、市民や高齢者の地域活動への参加を呼びかけていきます。

少子・高齢化を始め、就職難、非正規雇用、所得低迷、高齢者の一人住まい、介護など今後予想される新たな課題や本市の実態に柔軟に対応し、各事業担当課が、責任を持ってその普及・啓発を進め、男女共同参画社会の推進を図っていきます。

基本目標

- 基本目標 男女共同参画推進のための意識改革
- 基本目標 政策・方針決定過程への参画
- 基本目標 家庭・地域・職場における男女共同参画
- 基本目標 女性に対する暴力の根絶
- 基本目標 生涯を通じた健康の促進
- 基本目標 計画を着実に進める推進体制の充実

編集後記

春の日差しが、きらきらと暖かく輝いています。
 今回は、地域で活躍する男性にスポットを当て、取材をさせて頂きました。少子高齢化社会を迎え、男性も女性も豊かな地域社会づくりは大切なことです。
 「私らしく あなたらしく」この情報紙が皆さんの活力になることを願っています。
 ・一緒に男女共同参画社会づくり情報紙をつくってみませんか。
 詳しくは、男女共同参画室まで、tel. 04 - 7150 - 6064
 ・この情報紙について、ご意見、ご感想をお待ちしています。

情報紙編集員

[小野 節子、金井 直美、多々良 友子、原 直美]

発行：流山市企画財政部企画政策課男女共同参画室
 〒270-0192 流山市平和台 1-1-1
 Tel 04-7150-6064 Fax 04-7150-0111
 E-mail: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp



特集

活動するおやじたち

輝け ☆ プラチナ会

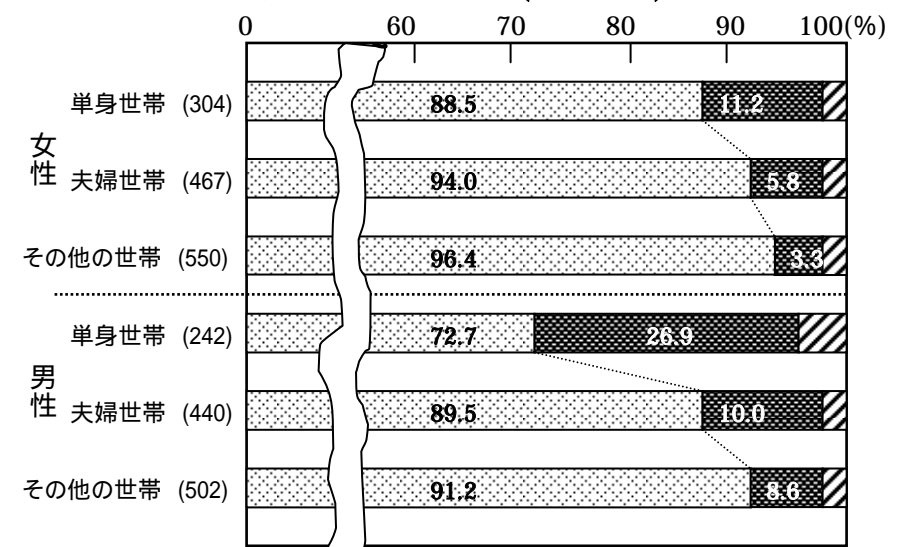
わらしこ親父の会!

男のたまり場づくり

平成20年の内閣府「高齢男女の自立した生活に関する調査」では、単身55~74歳男性の4人に一人が「話し相手や相談相手がい無い」と回答しています。また、約20年後の2030年には男女共に約2割が一人暮らしの社会になると予測されています。

この問題の解決には、お互いを支えあう社会の仕組みが必要不可欠です。さあ皆さん、より充実した地域づくりを目指して、地域の活動に参加してみませんか!

話し相手や相談相手がいる者の割合(55~74歳)



■ 相談相手がいると思う+どちらかとい ■ わからない
 ■ 相談相手がいるとあまり思わない+いると思わない

備考 内閣府「高齢男女の自立した生活に関する調査」(平成20年)より作成

紹介します



本村 嘉一さん

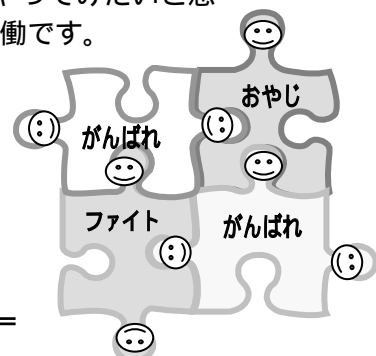
流山市美田在住、81歳
流山市国際交流協会、その他で英語を教え、週2、3回は囲碁で頭を鍛え、ジムで健康を維持されています。

それだけではありません、15年のキャリアを持つマジックを、老人会、児童館などで披露しています。

この日、平和台の福祉会館でそのあざやかな手さばきと話術を披露してくれました。マジックを習うきっかけとなったのは、昔有名だったマジシャンの「足立龍光」のステージを見て、ご自身もやってみたいと思ったからだそうです。まさにフル稼働です。

若さの秘訣を伺いました。
「外に出て行くことかな」と茶目っ気たっぷり・・・そんなしなやかさをいつまでも失わない本村さんです。

取材 2 / 24



輝け★プラチナ会

アクティブ・シニアを目指して

「プラチナ会」は中野久木の「あさぎが丘」でリタイア後の男性が中心となって活動しているグループです。自治会総会での「この地域を皆さんで良い場所にしていきたいと思います」という提案をきっかけに新興住宅街である「あさぎが丘」住民の親睦を目的に結成されました。「プラチナ会」の名前の由来は「シルバーは嫌だし、ゴールドにも抵抗があったので、飲み会でプラチナ会に決めました。」との事です。

2005年 囲碁教室開講（山口さん）

「会社をリタイアしたら、何か社会のために役に立つ事を始めたい」との思いから、好きな囲碁を通して地域に貢献する囲碁教室の開講を決意した山口さん。「囲碁を楽しみたい人なら、どなたでも歓迎」「会費は無料」「日曜日に月2回」「出欠は自由」で募集したところ、児童を中心に15名の応募があり、まずは礼儀と基本ルールから始めて「楽しく、でも礼儀正しく囲碁に親しむ」をモットーに活動されています。

2008年 「ゴルフ&飲み会」の会結成（畝田さん）

2年前にリタイアしたのをきっかけに、プレイしやすい平日にゴルフを楽しむ会を結成。「毎月1回 第一木曜にゴルフ」「ルールなし」で活動。ゴルフの後に必ず行われる飲み会は大いに盛り上がりメンバーの交流の場となっています。

2009年 麻雀教室開講（加藤さん）

- * 月2回の麻雀ゲームで脳を鍛えませんか！
- * 一家団樂の家族ゲームとして麻雀を習いませんか！
- * シニア&レディス大歓迎！
- * 老化防止にも効果あり！

との呼びかけで始めた教室は「会費は無料」「賭け麻雀の禁止」「禁酒、禁煙」をポリシーに毎月10日と20日の午後1時～5時の活動で麻雀愛好有志の懇親を深めると同時に、頭脳力の維持強化を目指しています。



加藤さん 山口さん 畝田さん

このような活動は家族に好意的に受け取られているようです。

他の男性へのメッセージは？との質問に「やりたかった事にチャレンジしよう！」

「好きな事で外に出よう！」とのエールを頂きました。多才なメンバーの活躍で、地域が今後どの様に育っていくのか大いに楽しみです。



わらしこ親父の会
会長 江藤智也さん

わらしこ親父の会は、「流山わらしこ保育園」の在園児のお父さん達で構成された有志の会です。年間様々な行事や子ども達の保育環境づくりのお手伝いをしています。親父の会に参加しているお父さんは20代～40代前後の方が中心で、今の時代ではとてもめずらしい現象です。その秘密がどこにあるのか？今日はそれについてお話してみたいと思います。

わらしこ親父の会！

若いお父さん達が進んで参加してしまうその理由

～親父の会が行っている主な行事～

- 鯉のぼり張り・バーベキュー大会
- 子ども達のプールづくり
- 親子キャンプの企画
- 大杉神社夏祭りの宵宮に出店
- 運動会の運営協力・年末の餅つきなど



さて、このような行事は年配の方々にはさほどめずらしいものではないと思いますが、親父の会では、30世帯以上の若いお父さん方が毎回進んで参加してくださり、盛り上がりを見せています。

それには三つの理由があると私は思っています。一つは、子どもが6才未満という時期で、これを機に地域参加をしてみたいと考えるお父さんが多いからです。二つ目は、自然の中で育つという保育園の保育方針に皆が共感し、子どもの為に出来ることを皆でやろうというポリシーに賛同しているからです。

ここで私があげたい本音の理由、三つ目の理由ですが、若いお父さんが居心地がよくなってしまふ意外な理由があります。それが「子ども達に名前を呼んでもらえるうれしさ」です。実はこの「名前を呼ぶ」という行為がとても大きな力をもっていると私は思っています。子ども達はとても元気で、顔をみると「～の父さん！」「～の父ちゃん！」と名前をきいて覚えてくれます。そうするとこちらもうれしくなり、よその子の名前も覚えていくのです。子ども達との間にこういう関係ができてくると、大人も自然と足が保育園に向いていくのです。そういうお父さんがたくさんいます。ひと昔前の町内会のような感じですね。その結果、話題が話題を生み、親父同士も自然と仲良くなっていきます。

地域参加という問題を考える時にも、この「名前を覚える、名前を呼ぶ」という基本的なことを忘れてはならない若い世代がたくさんいるように思います。隣は何をする人ぞ、という世の中ですが、明るい声で相手の名前を呼ぶだけで、相手との距離はグッと近づかずです。私はそれを気づかせてくれた、子ども達に本当に感謝しています。

大人同士がいい関係をつくれれば、子どもは豊かに育つ。その通りだと思います。このことを信じて、親父の会はこれからも保育園のフォローを積極的に行っていきたいと思っています。この話が皆さんの地域参加の参考になれば幸いです。

熟年男性の元気が街の元気の源

松戸で中高年男性の活性化に取り組む森永さんの取材から

活動への動機・気づき

定年前は、今までやりたかった事をじっくり腰を据えて出来ると、半ばバラ色人生を思っていました。しかし、気がつくと以前の会社の仲間以外との付き合いもなく、ましてや自分の住んでいる松戸や近隣との接点はゼロに近いものでした。そして、地域の新聞に載っていた「男の居場所探しフォーラム」に参加し、何かをしたい、でもどうやったらいいのかわからない男性の多さに改めて驚きました。以降、4年、「中高年の元気を支えよう」「男は元気で外がいい」をテーマとしてNPOでの活動を推進しています。

プロフィール

松戸市在住、
66歳、NPO法人
人材パワーアップ
センター(以降「J
PUC」)に席を置
き、千葉県男女共同
参画東葛飾地域
推進員、松戸市女性
センター運営協議員等に参画



森永さん

今後の方向や課題

多くの方々が気軽に参加できる活動を進めていきたいと思えます。加えて、地域課題を正面から取り上げた「セミナー」等も「知っていただく」から「みんなで行動」と枠を広げていく必要も感じています。

我々が動く事で、地域の課題が少しでも解決され、活動をされた方が、「あ～やってよかった！」と感じてもらえるような活動を続けていきたいと考えています。

メッセージ

まず一步、地域に出かけましょう。何でも良いので、それらの活動の中に入りましょう。活動を通じ、ご自分が何かをつかみ、何かが変わると思えます。JPUCの先輩の一人が、活動を終えて「ありがとう」の一言が何よりもエネルギーと言っています。私はまだその領域ではありませんが、自分が動く事で、自分の何かが変わっていくような予感を持っています。体が動く時こそ、まず動いて下さい。

現在の活動概要

- JPUCの活動理念は「地域の人の夢や思いの実現を支援・推進し、生き甲斐や喜びの発見と地域の活性化に貢献する」で、創立9年目、会員は約60名です
- アクティブシニアを支える諸活動
 - ・男の居場所と生き甲斐探し
家に閉じこもりがちな定年後の男性諸氏への気づきと行動への起点になる事が狙い
 - ・わくわく楽しむ会 等
中高年の方々の地域社会への参画を支援、たまり場づくり
 - ・みのり台ふれあいセミナー
地域の課題を行政や地域の方々と一緒に考える

